

講 義 要 項

授業科目		看護管理 I		担当者	土山 輝良
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	15 時間	講義・演習・DVD・その他		2 年次・後期
授 業 目 標	1. 看護管理システムについて理解し、看護管理が看護の質に関与することを理解する。				
授 業 計 画	<p>1. 看護管理とは</p> <p>1) マネジメントとは 2) プロセス</p> <p>3) マネジメントの内容 4) ケアのマネジメント</p> <p>5) 管理システム</p> <p>2. 組織マネジメント</p> <p>1) チームで看護 2) 看護方式</p> <p>3) クリニカルパス 4) 看護単位</p> <p>5) 看護基準、手順</p> <p>3. 情報を管理する</p> <p>1) 診療情報の共有 2) 記録の原則</p> <p>3) 診療記録の電子化 4) 電子カルテの導入</p> <p>5) 看護研究の活用、必要性</p> <p>4. 組織とその組織で働くこと</p> <p>1) 組織とは 2) 構成要素</p> <p>3) 組織の中の集団 4) 組織原理</p> <p>5) 組織デザイン 6) 病院組織</p> <p>5. キャリア開発</p> <p>1) キャリアとは 2) キャリア開発の背景</p> <p>3) 発達段階(スーパー、シェイン) 4) キャリア開発ラダー</p> <p>5) キャリアプラン 6) ベナーの臨床看護実践の発達段階</p> <p>6. リーダーシップ、看護と専門機関・職能段階</p> <p>代表的なリーダーシップ</p> <p>1) 入職オリエンテーション 2) 院内教育</p> <p>3) 認定・専門看護師研修 4) 職能団体</p> <p>7. 国際看護</p> <p>1) 国際看護の誕生 2) 考え方</p> <p>3) 文化的な差異への理解 4) 主な実践活動</p>				

参 考 文 献 等	1. テキスト：系統看護学講座 統合分野 看護管理，医学書院. 2. 配布資料 3. 参考文献：看護マネジメント入門，日本看護協会出版会. 看護実践マネジメント，メジカルフレンド社
評 価	1. 単位修得試験 2. 課題レポート 3. 出席状況
備 考	実務経験：認定看護管理者として、豊富な知識・経験をもとに授業を行う。